

# 公益財団法人 にいがた文化の記憶館

## 令和2年度 事業計画

令和2年4月1日から令和3年3月31日

### 展示事業

#### [概略]

年間の開館日は260日間、休館日は105日間。展示替えのための休館日は、17～19日間を充てたい。

2020(令和2)年度は、4月3日から企画展示3本と常設展示3本を計画。企画展示については紹介文化人の地元顕彰館もしくは顕彰団体と連携しながら、準備を進めていきたい。その他に、2019(令和1)年度に展示した新潟日報社所蔵の坂口安吾筆書簡も、新潟日報社創立記念日の前後に展示する予定。また吉沢久子氏の展示も半年間の展示を延長する。

### イベント事業

#### [概略]

2020(R2)年度は企画展示の関連事業として、協力顕彰館や団体などからゲストを招いて講演会など、年間数本を予定。あわせて、新型コロナウイルス感染拡大防止のために延期した講演会「吉沢久子さんに学んだ シニアの老後を楽しむ処方箋」(3月1日)を夏に開催する予定。

### 調査及び研究・研修事業

#### [概略]

展示室内で紹介している文化人を中心とした基礎データを基にデータベースを整備し、さらなる調査を進めていきたい。

あわせて、館運営の質を向上させるため、また他館との連携を強化するために、職員研修の機会を拡充したい。

### 教育普及事業

#### [概略]

2020(R2)年度は、月一回の解説会「月いちレクチャー」を廃止して、企画展示の解説会を複数回行う。

2020(R2)年度は、新潟青陵大学で「地域文化論講座」(前期開講、2年生対象)を担当する。

「にいがた偉人かるた」(2018[H30]年作成)と副読本をあわせた出前授業のPRを強化していく。

### (1) 学芸員等による作品解説会（約 1 時間）

企画展示の会期中、複数回の開催を予定。2019 年度までの「月いちレクチャー」と同様に、解説会開催によるリピーターと新規顧客増を期待する。

### (2) 外部講演など

教育機関や各種団体の要請により、館長、事務局長、学芸員が対応する。あわせて、企画展示の PR や、副読本や関連図、かるた等の販売も実施したい。

2020 (R2) 年度は、新潟青陵大学で「地域文化論講座」（前期開講、全 16 回、看護学部・福祉心理学部の 1 年生対象）を担当する。昨年度まで神林館長が担当していた講座を引き継ぐ形で、武藤事務局長を中心に講師を務める予定。

### (3) 副読本を活用した講演会、出前授業など

2017 (平成 29) 年度に副読本『みんなで伝えよう にいがた文化の記憶』（2015 [平成 27] 年 7 月発行）PR 用に文化人似顔絵パンフレット（A3 二つ折り、カラー）を作成した。2019 (R1) 年度も文化功労者に県出身者の映画評論家・佐藤忠男氏が認定されたため、同年度に改々訂版を作成した。2020 (R2) 年度の新中学 1 年生に配布予定。

2018 (平成 30) 年度に「にいがた偉人かるた」を作成した。2020 年度も引き続き、小学生にも馴染みやすい教材として、副読本と一緒に活用できるよう出前授業を計画し、県内の小中学校校長会等に提案していきたい。

2015 (平成 27) 年度から新潟県立教育センターの既存事業『学ぼう新潟の知恵』支援事業「知恵伝」に学芸員が派遣講師として登録している。学校の要請に応じて副読本を活用した出前授業に対応する。

## 連携・交流事業

### [概略]

県内顕彰館または顕彰団体の出張展示への参加促進を進めていきたい。出張展示では、各館単体では難しい展示や広報等のサポートをしていきたい。その際、県内顕彰施設および団体との具体的な連携がとれるよう、広く意見を聴取し、連携を強化していきたい。

2018 (平成 30) 年度から新潟日報夕刊「おとプラ倶楽部」と連携して、おとプラ倶楽部会報にて県内顕彰館を紹介している。2019 年度も継続予定。

### (1) 第 5 回にいがた文化ネットワーク協議会の開催

2019 年度の国民文化祭をきっかけに顕彰施設及び団体との連携・交流の強化を目指し、2020 年 6 月に第 5 回ネットワーク協議会を開催したい。

## (2) 機関誌「にいがた文化 vol.6」の発行

2019 (R1) 年度の「にいがた文化 vol.5」(24 ページ)は 2020 年 3 月末に完成(広告掲載企業は 29 社 32 コマ〔前年度 21 社〕)。2020 (R2) 年度の「にいがた文化 vol.6」でも当館の事業報告と県内顕彰施設や団体を実施する翌年度の催事紹介、広告掲載を予定。広告掲載企業の増加に伴い、誌面構成を検討したい。

### 顕彰人物選定委員会

#### [概略]

2020 (R2) 年度も県内出身またはゆかりの文化人基礎データ構築作業を続ける。

顕彰人物選定委員会の立ち上げや発足については、データ構築の進捗状況をみて、発足を目指したい。

#### 【参考資料】

別紙 1 「2020 年度 事業計画案 (詳細)」

別紙 2 「2020 年度 にいがた文化の記憶館 企画展示スケジュール・開館カレンダー」